

定例監査結果報告

地方自治法第199条第4項の規定による定例監査を高岡市監査基準に基づき実施しましたので、同条第9項の規定により、次のとおりその結果を報告します。

また、同条第10項の規定により、意見を提出します。

1 監査対象、監査期間及び実施場所

監 査 対 象	監 査 期 間
未来政策部 ・企画課 ・未来課 ・情報政策課 ・広報発信課 ・秘書課 令和5年4月1日から令和6年5月31日までに執行された所掌事務事業について	令和7年1月31日 ） 令和7年2月26日
	実 施 場 所
	監査委員室

2 監査を実施した監査委員

廣 嶋 康 雄 永 原 善 巳 水 口 清 志

3 監査の着眼点

共通監査項目として以下の事項に重点を置いて、監査を実施した。

- (1) 委託料の執行状況
- (2) 指定管理者制度の運用状況
- (3) 工事等の執行状況
- (4) 補助金の執行状況
- (5) 歳入金の収納状況及び不納欠損の状況
- (6) 行政財産の目的外使用の状況
- (7) 資金前渡金の管理状況
- (8) 備品の管理状況
- (9) 監査対象の所管する重点事業の執行状況
- (10) 前回監査での指摘事項等に対する措置状況

4 監査の主な実施内容

令和5年度において執行された事務事業が関係法令に基づいて適正に処理されているかについて行った。監査に当たっては、あらかじめ資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取するとともに、関係帳票等の監査を実施した。

5 監査の結果及び意見

経理事務及びその他の事務処理について監査したところ、適正に処理されていた。
なお、事務の執行等について、次のとおり意見を提出する。

- 本市においても進学や就職等を契機として、若者、特に女性が東京圏へ流出する傾向にある。引き続き、若者や女性にとって魅力あるまちとなるよう取組みを進められたい。

[企画課]

- デジタル技術を活用して住民の利便性の向上が図られている一方で、デジタル化についていけない方もいる。引き続き、あらゆる世代がデジタル化によるメリットを享受できるよう、誰一人取り残さない、デジタル社会の実現を目指し市民サービスの向上に努められたい。

[情報政策課]